

9月24日～9月30日は、 結核・呼吸器感染症予防週間です！

結核はまだ身近な病気です

◆ 発生状況

- 群馬県では、2023年に122人の患者が新たに登録されました（前年より10人増）。
- 年齢別では65歳以上が約半数を占め、依然として高齢者が多い傾向にあります。

◆ どんな病気？

- 結核が進行すると、咳やくしゃみのしぶきと一緒に結核菌が空気中に飛び散り、周りの人が吸い込むことで感染が広がります（**空気感染**）。
- 発病するのは感染者のうちの2割程度で、多くの方は免疫の働きによって発病しません。しかし、加齢や病気などで免疫力が落ちると結核菌が再び活動を始め、発病しやすくなります。

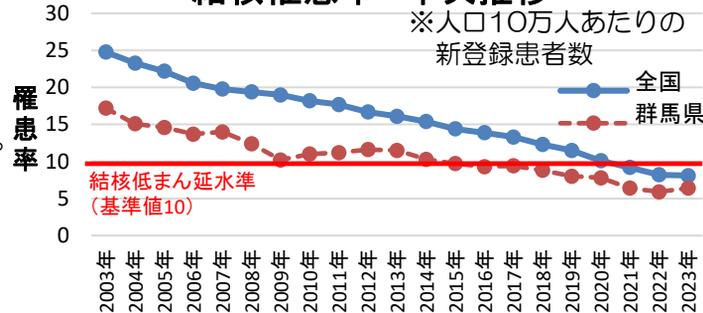
◆ 決められた期間きちんと薬を飲み続ければ治ります！

- 結核の症状には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いです。咳や痰、微熱、体のだるさが2週間以上続く場合には、早めに医療機関を受診しましょう。
- 事業所、学校、施設などで実施される**結核健康診断（胸部レントゲン検査）**を受けましょう。※65歳以上の方は、年1回の結核健康診断が義務付けられています（**無料**）。

★ 詳しい情報はこちら（結核について）→<https://www.pref.gunma.jp/page/3321.html>



結核罹患率※年次推移



予防しよう 身近な呼吸器感染症

◆ どんな病気？

- 呼吸器感染症には、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ、RSウイルス感染症、細菌性肺炎、マイコプラズマ肺炎などがあります。

◆ 対策の基本は、手洗い・咳エチケット・換気です！

- 帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗いましょう。手指消毒も有効です。
- 感染を拡げないために、咳やくしゃみをするときにはマスク、ティッシュ、ハンカチ、袖などで鼻と口を覆い、手で覆った場合は手を洗いましょう。
- 高齢の方や基礎疾患のある方は重症化の可能性があるため、予防接種を検討しましょう。★市町村の問い合わせ窓口など詳しい情報はこちら（医療・健康〔予防接種〕）→<https://www.pref.gunma.jp/page/1734.html>

